

関西学院大学主催
春季人権問題講演会

障害者権利条約第一回 建設的対話に向けて

～対日審査を契機にさらなる
法制度の拡充を目指す～

◆2022年6月24日(金)

●午後1時20分～午後3時00分

Zoom ウェビナーによるオンライン開催

◆講師／佐藤^{さとう} 聡^{さとし} 氏
(障害者インターナショナル日本会議事務局長)

◆参加方法／

以下のURLまたはQRコードから
予約フォームにアクセスし、
事前登録をお願いします。

<https://qrtn.jp/zreac83>



◆定員／500名

*講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学 Web サイト等で配信する予定です。

■講演内容

2006年に障害者権利条約が策定され、世界は障害がある人もない人もともに生きるインクルーシブな社会を目指す時代に入りました。日本は2009年から条約批准のために国内法の整備に取り組み、2014年に批准しました。条約の締約国は定期的に国際的なモニタリング機関である障害者権利委員会の建設的対話(審査)を受けます。条約の理念をどのように国内法制度に取り入れたか、改善すべき課題は何か、権利委員会から日本政府に総括所見(勧告)が出され、さらなる法制度の拡充に取り組むこととなります。建設的対話に向けた日本障害フォーラム(JDF)でのパラレルレポート作成の取り組み等を紹介し、世界から見た日本の課題と、これからの方向性を考えます。

■講師紹介

1967年 新潟県生まれ、9歳で障害をもち、4年間入居施設で暮らす。関西学院大学で自立障害者に出会い、自立生活運動に携わる。1991年からメインストリーム協会で、重度障害者の自立支援、交通バリアフリー運動、介助制度づくりに取り組む。2014年から DPI 日本会議事務局長となり法制度の拡充に取り組む。現在、DPI 日本会議事務局長、JDF 障害者権利条約パラレルレポート特別委員会事務局長、内閣府障害者政策委員会委員、国土交通省移動等円滑化評価会議委員。

総合テーマ：
「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2020～2024年度)

最新情報は人権教育研究室の Web サイト
にてご確認ください。

